

日本株式積極運用型特別勘定 運用状況 (2009年9月末現在)

運用方針

- 主に日本の成長企業の株式に分散投資することによって、中長期的な成長を目指します。
- 東証株価指数(TOPIX)を上回る投資成果を目指します。
- 運用にあたっては、当社が選定した複数の投資信託を組み合わせた運用を行います。なお、運用成果の向上を図るため、特別勘定で投資する投資信託については、継続的にモニタリングを行い、適宜見直しを行ってまいります。

資産内訳

	金額(千円)	構成比
投資信託	1,004,056	95.7%
現預金・その他	45,374	4.3%
合計	1,049,430	100.0%

運用状況

2009年9月の国内株式市場は、TOPIX(配当込み)で前月比5.10%下落しました。景気持ち直しの動きは一部経済指標で確認されたものの、金融機関の増資が懸念されたことや円高の進行から、日経平均は月間で359円下落し10,133円で9月の取引を終了しました。このような市場環境の中、当特別勘定は3.56%下落しました。

当特別勘定では、運用方針を勘案し、グロース運用を行う投資信託を組み合わせた運用を行っています。

現在、「フィデリティ・日本成長株・ファンドVA3」および「ピクテ・ニッポン・プレミア・グロース・ファンド」に投資しています。

9月は当勘定における投資信託の売買はありませんでした。

10月についても、これらのファンドへの投資を継続する方針ですが、ファンドへの投資配分・入れ替えについては適宜検討します。

ユニット・プライス騰落状況

ユニット・プライス	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	過去5年	設定来
52.74393416	▲3.56%	+1.00%	+19.06%	▲14.25%	▲45.72%	▲21.93%	▲47.26%

(注)ユニット・プライスとは、特別勘定の運用実績を把握するための参考値で、特別勘定の運用を開始した時点を「100」として数値化したものです。

ユニット・プライスの推移(運用開始日:2001年5月1日)



ポートフォリオの状況

[組入れ投資信託(投資比率)]

フィデリティ・日本成長株ファンドVA3 (50.9%) : p17上段
ピクテ・ニッポン・プレミア・グロース・ファンド (44.7%) : p17下段
現預金・その他 (4.3%)

(注)「p17上段」と記載してあるのは、各投資信託の運用状況を記載しているページです。ご参照ください。

ご注意

『当資料に関する「ご留意いただきたい事項」を2/28ページに掲載していますので、必ずご参照ください』

■将来の投資成果を保証するものではありません

当資料に記載されている事項は、現時点または過去の実績を示したものであり、将来の投資成果を保証するものではありません。